



小説家
あか がみ りょう
赤神 諒氏
上智大学大学院法学研究科教授。日本
学術会議会員。博士(法学)、弁護士とし
て環境法・行政法を専門としながら、本格
歴史小説・時代小説も執筆。『大友二階
崩れ』で第9回日経小説大賞、『はぐれ鴉』
で第25回大藪春彦賞、『佐渡絢爛』で
日本歴史時代作家協会賞作品賞ほかを
受賞している。

赤神諒が描く「物語のチカラ」

を
飲
に
読
な
し、
方
に
も
小
も
よ
ま
人
全

実際の商品にしました。小説の中で
飲まれる酒を現実
に味わえる体験は、
読者にとって特別
なものです
し、地域の
方々の誇り
にもなります。

小説はPC一台さえあれば、一人で
も書き始められます。映画やアニメの
ように大きな予算や設備を必要とし
ません。土地の魅力を丁寧に描けば、
人の意識を変え、地域を動かし、まち
全体を元気にする力があります。限ら



夏鶯コラボ



竹田の地で息づく武士の物語

『はぐれ鴉』から広がる出会い
——大分県竹田市を舞台にした代表作
『はぐれ鴉』は、ドラマ化や地域イベン
トへと展開が広がりました。この反響
をどのように受け止められましたか。

赤神氏 竹田市から資料をご提供いた
だいたことが、物語の出発点になりま
した。当時の竹田市長の熱量が強く、
私自身の創作の背中を押していただいた

小説は、人の心だけでなく、地域や社会にも
静かに影響を与えていきます。歴史小説を中
心に、多彩な作品を生み出してきた作家 赤神
諒先生。今回は、その創作の背景にある考え
方や、物語が人と地域にもたらす力について、
お話を伺いました。

「物語のチカラ」

The power of
storytelling

実感があります。作品が生まれ、そこ
からドラマ化へとつながり、ドラマの上映
会や地域イベントが開かれる。そして
「はぐれ鴉」のようなユニークな商品
まで生まれました。物語が地域の誇り
や賑わいに変わっていく過程を目の当た
りにし、作家としてこれ以上の喜びは
ないと感じています。人が集まり、交流
が生まれ、町全体が盛り上がる。その
循環こそが、物語がもつ力だと改めて
感じました。

芸術と小説が生む化学反応

——近年はアートとの協働にも積極
的に取り組んでおられますが、小説
と芸術が交わることで、どのような
広がりが生まれていますか。

赤神氏 私は常に発想を外に求めてい
ます。その延長として美術検定1級
(アートナビゲーター1級)を取得し、
美大で学びながら芸術家の人生を
小説にしています。明治期の画家 青木
繁を題材にした作品では、芸術と貧困
の問題を取り上げました。コロナ以降、
アーティストが厳しい現実には置かれる

れたコストで無限の世界を立ち上げ
られる点で、費用対効果の高い、創造
的なまちづくりのツールたりうる
と考えています。地域の方々と共に
歩むことで、作品も新しい命を得るの
です。

未来を照らす物語のチカラ

——最後に、先生にとって「物語のチカ
ラ」とは何でしょうか。

赤神氏 物語には人を元気にする力が
あると思います。読者が勇気を得て、

中で、社会が芸術にどう向き合うべきか
を問いたかったのです。

さらに近年はアーティストや学生との
コラボレーションもしています。小説を
題材にした作品を募集するコンテストや
美術大学との協働など、ジャンルを超え
た表現が生まれる場をつくっています。

小説から絵画、音楽へと広がるような
”化学反応”こそ創作の醍醐味であり、
新たな読者に届くきっかけにもなりうる
と思います。

小説から始まる地域のつながり

——これまでのお話を伺っていると
地域との協働が数多くあります。具
体的にどのような形でコラボレーシ
ョンが生まれているのでしょうか。

赤神氏 福井市では、戦国時代の朝倉
氏を描いた作品をきっかけに朗読会を
開催しました。文字で読むだけでは
捉えきれない物語の息遣いを、声にし
て届けることで、参加された方々が
地元の歴史をより身近に感じてくだ
さったのが印象的でした。岡山では
酒蔵と協力し、作品に登場する日本酒

地域が励まされ、やがて日本全体が少し
ずつ前に進む。その一端を担うべく、私は
これからも書き続けます。物語が人と
地域をつなぎ、未来を切り拓く。その
確信こそが、私にとっての創作の原動力
です。

赤神諒先生の語りから浮かび上がるの
は、物語が地域を動かし、人を励まし、
国境を越えてつながりを生む姿です。
PC一台で生み出される「物語のチカラ」
を、私たちは信じたいと思います。

赤神先生のお話から感じた 物語のチカラ

- ①物語は地域の歴史や
魅力を再発見させる力がある
- ②人と人をつなぎ、
まちに誇りと活気を生み出す
- ③国境を越えて文化や心を結び、
新たな未来を拓く



インタビューー

石黒 加奈子
(いしぐろ かなこ)

株式会社ハル
コミュニケーション・
プランナー